

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標3 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち			
	4 障がい者がともに暮らせるまちづくり			
施策名	(1) 生きがいを感じ社会参加を促す環境づくりの推進			
施策コード	3-4-1	施策構成	2 事務事業	決算額 39,918 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	障がい者が地域や社会の中でともに暮らしていると思う町民の割合	%
②	客観指標	地域活動支援センターの利用者数(介護福祉課)	人/年
③			
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	14.9	14.7	17.4	17.7	18.7	—	↗	—		
②	4,508	4,779	3,642	4,002	3,680	3,302	5,100	0%		
③										
④										

■施策における総括

前年度までの課題	令和2年度末で現在の障がい福祉・障がい児福祉計画が期間の満了を迎えるため、現計画の評価並びに新たな計画の策定が必要。また、障がい児者の親亡き後を見据えた緊急時受入れについての仕組みづくりが必要。
今年度の取り組み(成果、効果)	障がい福祉計画・障がい児福祉計画については、障害福祉計画策定協議会を経て、国の動向や町の現状を踏まえて新たな計画を策定した。障がい児者の緊急受入の仕組みについては、糟屋中南部障害者(児)自立支援協議会において協議を重ね、受入先の事業所向けの説明会の開催、実施要綱の制定等の準備を行った。
次年度以降に改善すべき課題	自殺対策計画については、新型コロナウイルス感染症を踏まえたものにするこで、コロナ禍に即した対策を行う。障がい児者の緊急受入について、受入の契約の可能性のある事業所と協議し、現行の仕組みについて改善を行い契約締結に努める。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。		②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。	○	③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。